

## 文化の心次世代継承事業

(学校・いけばな・出会いプロジェクト)

| 京都府 文化芸術課 |  
令和8年3月

01

### 事業趣旨

いけばなには、花のいのちと向き合い、その美しさや季節を感じ取る心、自然を尊重しながら調和を生み出す感性など、昔から大切にされてきた“文化の心”が息づいています。

しかし昨今の生活様式の変化で、家庭で花を生けるような、日常の中で花に触れる機会は少なくなっています。

京都府では、いけばな講師と連携し、**学校の先生方の負担を少なくしながら**、子どもたちが花と触れ合う時間を提供します。

花を生けることを通じ、子どもたちは**自然の美しさに気づき、花のいのちを感じながら自分の中にある感性と向き合い、他者の個性も受容しあう心**を育みます。

事業趣旨

実施事例

アンケート

学校側準備

FAQ

最後に

# 具体的に どういう感じなの？

こちらから  
報告書 (PDF) を  
ご覧いただけます



- 講師のお話**  
いけばなの歴史  
草花で感じる季節  
体験で扱う花材の解説
- 生け方の説明**  
花材毎の切り方、剣山を用いた花材の固定方法  
花材の高さの決め方  
左右前後の配置バランスのポイント  
花ばさみの扱いの注意点
- いざ、体験**  
講師陣が子どもたちのもとを回るので、分からない  
点は都度教えてもらえます
- 講師チェック**  
講師陣が完成後のみなさんの作品を確認します  
少しの手直しをするだけで出来上がりが変わります
- 作品の写真撮影・鑑賞**  
体験後は剣山から花材を抜くため、作品の姿はこの  
場限りのもの  
出来上がった作品を写真に収めます  
他者の作品を鑑賞し、それぞれの特徴や良さを認め  
合います
- 片付け**
- 家庭で生け直し**  
体験で使った花材は持ち帰ります  
剣山の代わりになる吸水性スポンジも配るため、家  
庭に帰っても体験は続きます

# 具体的に どういう感じなの？

令和7年度の実施事例です

学校種別	小学校	中学校	特別支援学校
学 年	6年生	全学年	中学部
体験時間	95分 (13:50~15:25)	110分×3学年 (1日目13:35~15:25/2日目11:00~12:50、 13:35~15:25)	110分 (10:00~11:50)
科 目	総合的な学習の時間	美術科	総合的な学習の時間
どうして いけばな体 験を？	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 総合学習で、人とのつながりの大切さや生き方を学習していた</li> <li>• いけばなを通じ、<b>生命の尊さや互いの個性を大切に</b>する心情を育てたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 先人から受け継がれてきた文化を体験する中で<b>豊かな心や創造性を育む</b></li> <li>• 体験を通して、花のある生活の良さに気づく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 花を選んだり、生けたりする中で、生花を丁寧に扱うことや華道の作法について知り、<b>自由に花を生けたり、自分の思いを表現したりすることの楽しさを実感する</b></li> </ul>
導入して みてどうで した？	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 児童が<b>新たな自分を表現する場</b>となった</li> <li>• 今回の体験が『学習発表会』のアイデアとして活かされた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>自然への感謝や「調和」「静寂」といった日本的美意識を</b>体感できた</li> <li>• 地元の講師であったため<b>今後の協働の可能性</b>が広がった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「楽しい」「またやりたい」と多くの生徒が感じた</li> <li>• 完成した作品を人に見てもらおうとする姿から、<b>自信や達成感</b>が感じられた</li> </ul>

# 具体的に どう感じるの？

※写真はそれぞれ異なる学校のものです。



▲器や剣山が準備された教室



▲講師が作品を仕上げている様子を間近で観察



▲どう挿したらいいか相談



▲自分の世界に入り、集中して取り組む様子



▲講師からアドバイスもあります



▲同じ花材を生けたのに、並べて見ると個性が出ます

事業趣旨

実施事例

アンケート

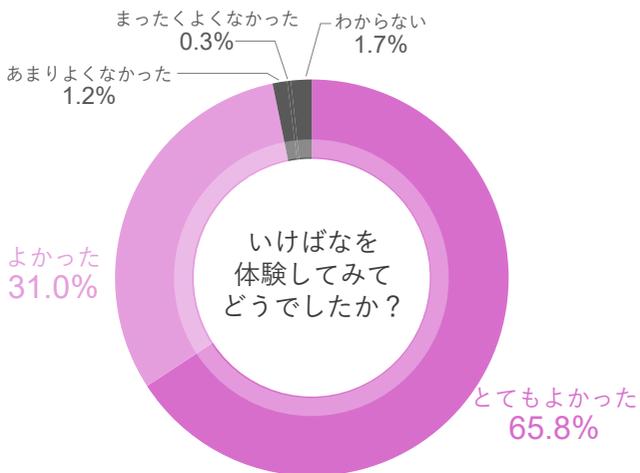
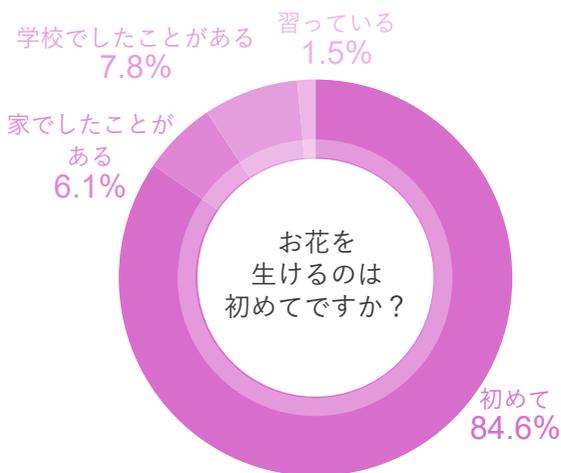
学校側準備

FAQ

最後に

# 児童生徒のみなさん、 体験はどうでしたか？

令和7年度 25校1,305名が体験 うち868名のアンケート結果抜粋



事業趣旨

実施事例

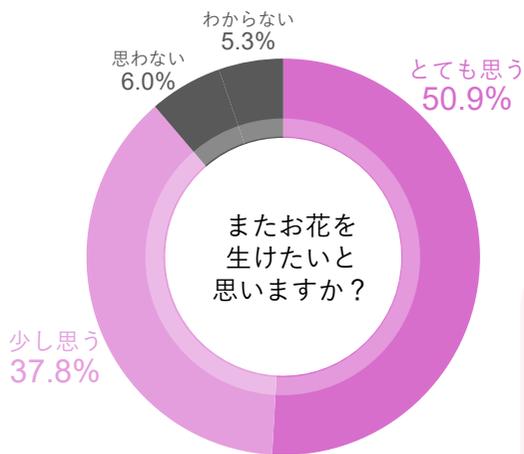
アンケート

学校側準備

FAQ

最後に

## 児童生徒のみなさん、 体験はどうでしたか？



何が印象に残りましたか？（複数回答可）

- 1 花を生けることに集中できたこと（494名）
- 2 花を美しく見せるコツを教えてもらったこと（423名）
- 3 同じ花材でも友達と違う作品ができたこと（382名）

自由記述より  
花のお世話は面倒と思っていたが、家に飾ると、元気をもらえた

正解のない美の世界の奥深さに触れることができた

いけばなをしている間、集中して、悩み事や考え事を全て忘れられた

同じ花でも表情が違うし、作品もみんなそれぞれ個性があった



事業趣旨

実施事例

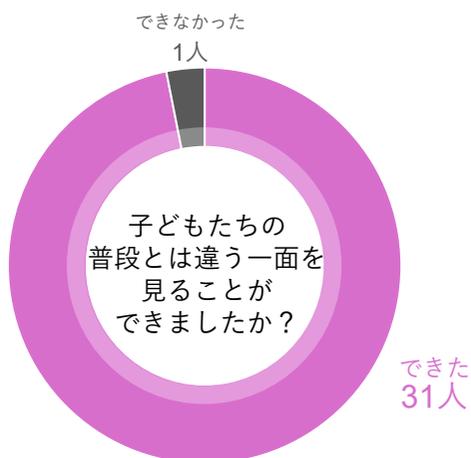
アンケート

学校側準備

FAQ

最後に

## 先生方から見て、 体験はどうでしたか？



自由記述より

学力（認知能力）とは関係なく各々の個性を生かすことができ、誰もが認めあう場となった

中々集中することが難しい生徒も、花と向き合って集中することができた

子どもたちの発想を全て受け止めていただき、のびのびと活動できた

生徒がいけばなを仕上げた後、具体的なアドバイスをいただき、生徒にとっては新たな視点での気づきにつながる場面が多かった



事業趣旨

実施事例

アンケート

学校側準備

FAQ

最後に

子どもたちに体験してもらいたいけど……

## 学校は何をしたらいいの？

打ち合わせをして

- 実施1～2か月前に講師と**打合せ**（1時間程度）。
- 打合せは学校にて、またはオンラインで行います。
- **府職員が同席**します。

ちょっと準備して

- 花材の手配等はすべて講師・京都府で行います。**学校側の費用負担もありません。**
- **事業計画書を作成・提出**いただきます。

当日は児童生徒を  
教室に連れて行くだけ！

- **当日の準備・片付けは講師や府職員が行います。**
- 前日～当日朝に生花店が花材等をお届けするので、受け取りをお願いします。
- ご対応いただける範囲で学校に備品をお借りします（打ち合わせ時にお伝えします）。
- 児童生徒が普段とは異なる一面を見せることがありますのでぜひご覧ください。
- 体験終了後、**完了報告書を作成・提出**いただきます。

事業趣旨

実施事例

アンケート

学校側準備

FAQ

最後に

申し込もうかな……でも疑問が

## よくある質問と回答

華道の知識が全くない教員でも対応できる？

大丈夫です。講師、府職員がサポートします。

事前学習は必須？

必須ではありません。

体験時間の目安は？

目安は2コマ分、90分程度です。学年や活動内容によって変動します。

作品を文化祭で飾りたいんだけど……

申込時にその旨お知らせください。可能な範囲で剣山等の備品をお貸しします。

※他校の体験との兼ね合いで対応できかねる場合があります。

花ばさみ、危なくない？

小学校高学年以上であれば注意して使ってくれますが、懸念がある場合はクラフトばさみでの体験も対応可能です。

特別支援学級・学校でも実施できる？

特別支援学級・学校でも実施しており、活動時間・説明方法などは子どもたちの特性に合わせて調整します。

事業趣旨

実施事例

アンケート

学校側準備

FAQ

最後に

## 最後にこれだけ！

### 京都だからこそできる体験を子どもたちに！

京都はいけばな発祥の地であり、  
今も多くの流派の家元が集まっています。

その京都ならではの環境で、  
子どもたちが“本物の文化に触れる機会”をもつことは、  
自然と向き合い、美的感性や  
自分の思いを表現する力を育みます。

そして、こうした体験を積み重ねていくことが、  
日本の伝統文化を未来へ受け継いでいく  
大切な一歩になります。

事業趣旨

実施事例

アンケート

学校側準備

FAQ

最後に

## そのほか、疑問点等は 担当までご連絡ください！

担当・問い合わせ先

京都府文化芸術課地域文化振興係

電話：075-414-4279

メール：bungei@pref.kyoto.lg.jp

事業趣旨

実施事例

アンケート

学校側準備

FAQ

最後に